

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100272		
法人名	社会福祉法人 可部大文字会		
事業所名	グループホーム Hanamizuki		
所在地	広島市安佐北区可部南3丁目10番22号 (電話) (082) 815-2199		
自己評価作成日	平成31年1月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100272-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100272-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年2月21日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

平成22年8月に開設し、当初より社会福祉協議会主催の文教女子高等学校での花見イベントへ毎年参加をし、地域のボランティアには定期的に来設いただく等、地域との交流やボランティアとの繋がりを何より大切にしている事業所である。ハード面においては3階に展望浴場、屋上に憩いのスペースを設けており、散策やイベントの場として利用している。ソフト面においては、施設内外の研修を年間計画に基づいて実施している。また入居者自身のニーズに応え、出来る事、したい事、四季を通しての施設外散歩や地域参加を行い、個別ケアに取り組んでいる。その他、当法人の各事業所との交流により、情報を共有するネットワーク作りの構築を進めている。防火災害対策にも力をいれており、近隣地域と防災協定を締結している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人の理念である「山まゆの糸」のような光輝く最高の人生を送られることを、心から願って。を柱に事業所の年間目標「あなたと会えて良かったと思われる介護サービスの実現を目指す。」を掲げ、週間目標・月間目標の達成に向けて実践され、評価を全職員で行い共有する事で、実現に繋がるよう努められている。又、地域交流を重視し、設立当初から和太鼓や傾聴グループなど多数のボランティアの受け入れも協力的である。利用者ケアに関しても、本人・家族の意向、要望を担当職員を決める事で、信頼関係が築けて本人本位である個別ケア、ケアプランにも活かされている。防災対策に関しても、地域との連携体制が整っていて、相互の関係性が協力的である。環境的にも四季折々の季節感を感じる事ができ、目で見て、肌で感じ、食して味わう事への支援がされている。

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	ユニットごとに毎日、朝の業務引き継ぎ時に職員で理念と施設目標の唱和をおこない、職員の意識統一をおこなっている。フロアに理念を掲示している。	法人理念をもとに施設方針として、職員一人ひとりが「責任と誇り」を持ち共感満足度を創出し、「あなたに会えて良かったと思われる介護サービス実現を目指す」を掲げている。「1日の気づき・おぼえ書き」を活用して意識統一を図り、フロア会議にて振り返りを行い、個々の介護の資質の向上に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域からの行事参加や呼びかけには積極的に参加している。地域からのボランティアの受け入れも積極的に行い、特にミミの会傾聴ボランティアは設立当初から継続して受け入れている。	散歩や買い物には、気軽に挨拶や声掛けを行ったり、銭太鼓や傾聴など数多くのボランティア訪問があり、また事業所は地域運動会、大学桜祭り、グランドゴルフなど参加している。敬老会や卒園のお祝いを通じて幼稚園児との交流を続けたり、敷地内に週2回の移動スーパーの滞在があり、近隣住民も利用している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	同法人内の職員が講師を務める認知症サポーター養成講座の案内を行い、参加を促している。その他相談等あれば随時行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は、約2か月ごとに小規模多機能事業所と合同で会議を行い、多様な話し合いが行われている。その中で地域代表の方より行事の催しなどの情報交換を行い、参加させて頂いている。	運営推進会議は各事業所と合同で開催している。利用者、利用者家族代表、地域代表、地域包括支援センター職員、毎回ではないが参加が得られている。交流・行事の実施状況、苦情、事故状況報告など、会議が意見交換の場になっている。貴重な意見を前向きに受け止めてサービスの質の向上に繋がる様努めている。(例おやつレク等)	運営推進会議の参加者が限られ、利用者、利用者家族、行政等案内はするものの、調整が出来ず難しい点もありますが、行事ごとと一緒にするなど、何か工夫する事で参加しやすく、意見が出しやすい場作りになるよう期待します。
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	区担当者だけでなく、広島市担当者への問い合わせ等も必要があれば、その都度連絡をとるようにしている。	行政担当者には申請時、更新時のみならず、不明、不安点があればその都度連絡をとるなど連携が保たれている。医療ニーズが高い入居者希望者事例や福祉制度をスムーズに利用する為に、事前に向いて相談するなど、行政とのつながりを継続している。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止研修の実施や委員会の活動にて、身体拘束の理解を深めている。玄関には防犯の為電子錠を使用しているが、ご家族やご来訪の方が自由に押せる位置に開錠ボタンがあり、どなたも気軽にボタンを押していただいている。	「身体拘束廃止委員会」法人全体で3ヶ月毎に行っている。事業所では研修やフロア会議での実例研修を重ね、職員全員が言葉を含め不適切なケアを認識している。玄関は防犯上電子錠を設置しているが、来訪者には開錠ボタン併用し、気軽に来訪頂けるよう考慮されている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待について、法令に基づいたマニュアルを置き、研修を行っている。高齢者虐待についてフロア会議などでも話し合う機会を設けている。また高齢者虐待のニュース等があった場合回覧し、自施設の振り返りを行っている。	/	
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者と委員会を中心に職員のレベルに応じた研修を行っている。成年後見制度、権利擁護については現任研修で研修を受けている。	/	
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所に係る面接時等、また入所後も随時、利用者様、家族様からの意向を伺い対応を行っている。	/	
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情解決に係る整備を行い、いつでも苦情を受け付け、解決に向け体制を整えている。また、介護サービス計画書の承諾をいただく際には、要望、意見を伺い反映させている。	面会や電話の時、家族からの要望や意見を聴きとり解決に向けて対応している。時にはケアプランに反映させている。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	フロア会議を中心として意見を聞くこととし、各提案について積極的に意見交換を行っている。また、毎週1回、本部において行われる全体朝礼、月1回のリーダー会議、推進会議の内容を各職員に伝達し反映している。	半年毎に管理者との個人面談を行い、意見が出しやすい関係作りがなされている。又、管理者は本部の会議などに出席している。昨年「心の窓」という箱を置き、職員の思いを無記名で書き入れる事で、職員の思いを業務に反映させる新たな取り組みがある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に1回メンタルヘルスチェックを行っている。また年に2回自己評価を行いボーナス、昇給に反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	介護福祉士、介護支援専門員へのスキルアップ等を積極的に支援している。また、年間計画に基づいた施設内研修を行うとともに、施設外研修の参加も勧めている。資格取得におけるサポートも行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の各事業所との交流や合同の行事への参加もあるなど、職員間の交流もあり、相互に情報交換を行い、サービスの質の向上を互いに目指している。法人外とのネットワーク作りは出来ていない。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個々の利用者様との対話を大切にし、利用者様が何に不安を抱いていて、何を求めているかを常に聞くと共に、職員間で情報を共有している。特に入居時には早く馴染めるよう共同作業等を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族様からの要望や困り事などは、積極的に話し合いを行い、疑問、要望等があれば、面会時、電話などでいつでも聞いていただけるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	どのようなサービスを求められているのかを見極め、必要とされるサービスが事業所で提供できるかを常に検討しながら、相談にのっている。また、入居時には要望を聞き出し、反映させている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様と職員の間になじみの関係を築き、利用者様も家族の一員であると常に考えている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様からの意見を率直に伺うとともに、常に連携し、利用者様にとって何が一番良いかを念頭に置いて関わっている。また、毎月、家族様へ状態や本人の希望を手紙にて報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	一人ひとりが馴染みの人や場所との関係が途切れない様に配慮している。地域の公園への散歩や買い物など、また知人への手紙、電話のやりとり等行っている。以前住んでいたサ高住への訪問等行っている。	馴染みの人や場所、過ごした環境など記録し職員全体で共有している。知人との年賀状・手紙を適宜、仲介したり気軽に面会して貰えるよう配慮している。以前、住んでいた同敷地内のサービス付き高齢者住宅への訪問を喜ばれるなど、時には家族に協力を得ながら、馴染みの関係継続に努めている。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し、孤立しないように言葉かけや会話で誘導し、レクリエーションや日常生活で関わり合いを持っていただくように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他事業所に転居された利用者様も行事等で利用者様同士顔を合わせる機会がある。退所された利用者様、家族様の来訪もあり、相談も継続的に随時行っている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族様と情報交換または、利用者様の意向を聞き把握している。利用者様本位を念頭に検討し、サービス計画に反映している。	担当職員を中心に利用者が大切にしている思いや願いを、日々の関わりの中で汲み取り、時にはそのままの言葉や話を記録し共有している。ゴミ袋作り、畑仕事、裁縫など具体的なケアプランに繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	面接時に本人、家族に生活歴、生活習慣、環境、嗜好を聞き、把握している。また今まで利用していた事業所からの引き継ぎ書を参考にしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	介護記録、食事摂取量・排泄記録表、与薬、バイタルサインチェックなどで把握し、ケアプラン評価（モニタリング）を行い、ケアプラン更新毎にケアチェックを行い、現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者様、家族様、担当職員間との話し合いにより、意向を反映した介護計画を作成している。また、月に1度、モニタリング(評価)6ヶ月に1回ケアチェックを行い、現状の把握を行っている。</p>	<p>チームからの情報や汲み取った意向をもとに医療情報も加味し、アセスメント・介護計画原案を作成し、本人・家族・関係者と話し合っている。日常生活の中に洗濯物を畳む、片付けなど取り入れ、毎月のモニタリング・半年毎の介護計画の見直しを行い、より具体的な個別ケアに繋がるよう取り組んでいる。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護経過を基に6ヶ月毎のモニタリングの際、定期的な見直し、及び状態の変化に応じて、随時見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>利用者様や家族様の要望に応じ、受診時の送迎や買い物等の外出希望時等、柔軟な対応をし、ルーチンワークにならないようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>利用者様の意向や必要性に応じ、幼稚園や小学校、地域の行事等、地域の方との交流を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>内科、歯科医師の往診体制が整っており、ご本人様が希望する病院等も含め、急変時の連携も行っている。</p>	<p>入所時に意向を確認後、協力医を主治医としている。主治医往診が月2回、歯科医の往診もある。非常勤看護師が週3回配置されていて、日々の健康状態を把握し、変化時も主治医との連携を行い介護に反映させている。家族の希望もあり適宜、他の医療機関も適切に受診出来るよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師や医療機関との連絡体制が整っており、日常的に協力し、介護状況の報告、情報交換を行い、健康管理を支援している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	安心して退院ができるよう、定期的に様子を伺いに行き、医師や看護師との情報交換や相談を行っている。家族様との連絡等、退院後の生活に向けての連携を行えるようにしている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に本人、家族に意向を伺い、指針、マニュアルを整備し、チームケアの支援体制を整えており、重度化した場合において再度意向を伺い、また主治医との連携体制も整え今後の方針を決めている。	入所時に、「重度化した場合における対応に関わる指針」を本人・家族に説明し同意を得ている。更に「重度化に伴う医療対応に関する確認書」に基づき終末期ケアを行う体制がある。今後の研修や振り返りを重ねながらより意向に沿えるようチームで取り組んでいる。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを作成しているとともに、初期対応の研修などで対応等を学んでいる。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルを作成しているとともに、火災、水害を想定した消防訓練を行っている。また、また、地域と平成25年11月に、防災協定を締結した。	年2回昼夜想定し、利用者と共に消防署指導の下避難訓練を行っている。地域との防災協定締結がされており、各々の役割を明確にしている。敷地内の同法人による高齢者住宅は緊急退避施設に想定され、昨年の7月豪雨災害時には入浴提供が行われ、双方の協力体制が出来ている。	



自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねる言葉かけ、対応はしていない。また、記録等の個人情報の取り扱いは慎重に行っている。	人格を尊重し、誇りやプライバシーを損なう事のないよう外部研修、内部研修、全体研修等資質向上を図る体制ある。利用者に対して、言葉かけ、言葉による暴力に気づく事を重要視し、節度を持って対応出来るよう、職員の育成がなされている。又、職員同士注意し合える関係性に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員は、利用者様が自己決定したり、希望を表出しやすくする事を大切に、それを促す等の取り組みを日常的に行っている。また、よく分かるよう、納得がいくよう説明をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のペースに合わせ、職員の都合により、強制することなく、安心して過ごせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	事業所内に定期的に美容師の方に来ていただき、利用者様の意向を聞きながら行っている。また、なじみの理美容室を希望された場合はその都度出かけられる支援を行っている。服も可能な限り選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様のペースに合わせ、一緒に料理やおやつ準備片付けをしている。安全に配慮した見守りや声かけを十分行っている。料理レクを実施することにより、イベント的に男女問わずに関われるよう支援している。	利用者のペースを崩さないよう盛り付け、配膳、下膳、後片付けなど自分の出来る範囲を役割として手伝いをしている。料理レク、おやつレクとして誕生日のケーキ作り、行事食、おはぎ等楽しみながら出来るよう支援されている。(ケーキの泡立てを手伝って下さる男性もいらっしやる。)	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	昼食は管理栄養士による献立に基づき、栄養バランスのとれた食事、また季節を感じていただく食事を提供している。朝食、夕食は高齢者向けの配食サービスを利用している。また、利用者様の食事、水分摂取量を毎食チェックし状態に応じた対応を随時行っている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、きちんと歯磨き、口腔内の手入れ、うがいをしよう、職員が見守り、確認を行っている。異常があれば、直ちに歯科往診をできる体制を整えている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自然排便への取り組みを実践し、定時、随時にトイレ誘導、声掛けを行い、できるかぎり、トイレにて排泄を行っていただいている。	排泄チェック表により一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を基本としている。自立支援として紙パンツから吸水性の布パンツに移行された例もある。便秘対策として食事管理（ヨーグルト等）や、起床時の適切な水分摂取、適度の運動等便秘予防を図る工夫もしている。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	散歩、運動や起床時の冷水にて腸動を促したり、水分摂取により、便秘の予防に取り組んでいる。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	お好みの浴槽に入っただく等、個々に応じたに入浴や、季節に合わせゆず湯等の支援をしている。また、中止をした場合には、別日に入浴、または清拭を勧めている。	入浴は週2回午後浴を基本にしている。利用者の体調や習慣を考慮して柔軟に対応している。浴室は階上にあつて個浴（1人用）大浴（2人用）があり、利用者の好みに応じた対応をしている。大浴は浴槽から外の景色が望める浴室になっている。時には菖蒲湯、ゆず湯など楽しんで頂けるよう準備され、季節を感じてもらえる工夫もされている。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中自由に過ごしていただき、静養される方もいる。夜寝付けない方には暖かい飲み物などを提供し、職員と話して過ごしてもらうなど工夫している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>職員は、薬の目的や副作用について把握に努め薬情の確認を行っている。服薬の確認、体調の変化も記録し、医療機関、調剤薬局と連携している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>利用者様の個々のレベルに応じて、個々の利用者様に依りて家事の手伝いや製作物作成等の支援を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>利用者様の希望により、散歩に出かけたり、買い物に出かけたりしている。外出レクリエーションや法人、地域の行事へ出かける機会がある。</p>	<p>日常的に近くの公園に散歩で出かけたたり、日用品の買物に外出したりしている。又、季節を感じて頂けるよう、初詣、お花見、紅葉狩り等、地域の運動会見学、大学の桜祭り、秋祭りの子供神輿見物等、地域行事の参加で外出支援に繋げている。外出、外泊など家族の協力も得ながら行われている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>利用者様の状態により、お金のトラブルの防止するため施設管理としているが、お金に関する不穏を招かないよう希望に応じて財布を確認していただいたり、お金を自身で所持していただき一緒に買い物に行く等の支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者様の希望により、電話等、家族様への連絡を行っていただくようにしている。定期的に施設に電話をしてこられる家族様をいらっしゃる。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間に吹き抜けがあり、自然の明かりを取り入れている。壁面に写真やお便りなど、また利用者様の作成した作品を掲示している。また、季節の花を飾り、季節感を感じられるようにしている。3階フロア及び緑化スペースは、合同レク等に利用し気分転換に役立っている。</p>	<p>共有空間スペースにある吹き抜けは自然の光が差し込み、温かみを感じる事が出来る。フローア壁面には季節ごとの利用者、職員の手作り作品ちぎり絵が飾られていて、落ち着いた雰囲気作りがなされている。吹き抜けスペースを活用して、夏にはそうめん流しをされ喜ばれた。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>談話室や面談室があり、家族や利用者同士で過ごしたりし、居場所づくりをしている。利用者様の思いや、状態に応じた場所で過ごせるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時に今まで使っていたものを持ってきていただくようお話し、居室内に自分のタンスや親しんだ小物等も置かれ、家庭的な感じをそのまま居室につくり出すようにしている。</p>	<p>居室にはベット、エアコン、洗面台、カーテンが設置されている。自宅から持参された使い慣れたタンス、イス、テレビ、愛読書、大きな時計、奥様の写真、家族の写真、人形、塗り絵等、一人ひとり居心地よく過ごせるよう配置、置き場所にも工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>利用者様のペースに配慮しながら、できること、できそうなことを職員が見極め、すぐに介助に入るのではなく、残存機能を維持できるようなケアを含め、見守りを行っている。杖の使用や歩行器の使用をするなどをし、歩くことへのサポート体制をとっている。手すり等も設置している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	ユニットごとに毎日、朝の業務引き継ぎ時に職員で理念と施設目標の唱和をおこない、職員の意識統一をおこなっている。フロアに理念を掲示している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域からの行事参加や呼びかけには積極的に参加している。地域からのボランティアの受け入れも積極的に行い、特にミミの会傾聴ボランティアは設立当初から継続して受け入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	同法人内の職員が講師を務める認知症サポーター養成講座の案内を行い、参加を促している。その他相談等あれば随時行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は、約2か月ごとに小規模多機能事業所と合同で会議を行い、多様な話し合いが行われている。その中で地域代表の方より行事の催しなどの情報交換を行い、参加させて頂いている。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	区担当者だけでなく、広島市担当者への問い合わせ等も必要があれば、その都度連絡をとるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止研修の実施や委員会の活動にて、身体拘束の理解を深めている。玄関には防犯の為電子錠を使用しているが、ご家族やご来訪の方が自由に押せる位置に開錠ボタンがあり、どなたも気軽にボタンを押していただいている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>高齢者虐待について、法令に基づいたマニュアルを置き、研修を行っている。高齢者虐待についてフロア会議などでも話し合う機会を設けている。また高齢者虐待のニュース等があった場合回覧し、自施設の振り返りを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>管理者と委員会を中心に職員のレベルに応じた研修を行っている。成年後見制度、権利擁護については現任研修で研修を受けている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所に係る面接時等、また入所後も随時、利用者様、家族様からの意向を伺い対応を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情解決に係る整備を行い、いつでも苦情を受け付け、解決に向け体制を整えている。また、介護サービス計画書の承諾をいただく際には、要望、意見を伺い反映させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	フロア会議を中心として意見を聞くこととし、各提案について積極的に意見交換を行っている。また、毎週1回、本部において行われる全体朝礼、月1回のリーダー会議、推進会議の内容を各職員に伝達し反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に1回メンタルヘルスチェックを行っている。また年に2回自己評価を行いボーナス、昇給に反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	介護福祉士、介護支援専門員へのスキルアップ等を積極的に支援している。また、年間計画に基づいた施設内研修を行うとともに、施設外研修の参加も勧めている。資格取得におけるサポートも行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の各事業所との交流や合同の行事への参加もあるなど、職員間の交流もあり、相互に情報交換を行い、サービスの質の向上を互いに目指している。法人外とのネットワーク作りは出来ていない。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個々の利用者様との対話を大切にし、利用者様が何に不安を抱いていて、何を求めているかを常に聞くと共に、職員間で情報を共有している。特に入居時には早く馴染めるよう共同作業等を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族様からの要望や困り事などは、積極的に話し合いを行い、疑問、要望等があれば、面会時、電話などでいつでも聞いていただけるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	どのようなサービスを求められているのかを見極め、必要とされるサービスが事業所で提供できるかを常に検討しながら、相談にのっている。また、入居時には要望を聞き出し、反映させている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様と職員の間になじみの関係を築き、利用者様も家族の一員であると常に考えている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様からの意見を率直に伺うとともに、常に連携し、利用者様にとって何が一番良いかを念頭に置いて関わっている。また、毎月、家族様へ状態や本人の希望を手紙にて報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	一人ひとりが馴染みの人や場所との関係が途切れない様に配慮している。地域の公園への散歩や買い物など、また知人への手紙、電話のやりとり等行っている。以前住んでいたサ高住への訪問等行っている。		



自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士の関係を把握し、孤立しないように言葉かけや会話で誘導し、レクリエーションや日常生活で関わり合いを持っていただくように努めている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	他事業所に転居された利用者様も行事等で利用者様同士顔を合わせる機会がある。退所された利用者様、家族様の来訪もあり、相談も継続的に随時行っている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	家族様と情報交換または、利用者様の意向を聞き把握している。利用者様本位を念頭に検討し、サービス計画に反映している。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	面接時に本人、家族に生活歴、生活習慣、環境、嗜好を聞き、把握している。また今まで利用していた事業所からの引き継ぎ書を参考にしている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	介護記録、食事摂取量・排泄記録表、与薬、バイタルサインチェックなどで把握し、ケアプラン評価（モニタリング）を行い、ケアプラン更新毎にケアチェックを行い、現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者様、家族様、担当職員間との話し合いにより、意向を反映した介護計画を作成している。また、月に1度、モニタリング(評価)6ヶ月に1回ケアチェックを行い、現状の把握を行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護経過を基に6ヶ月毎のモニタリングの際、定期的な見直し、及び状態の変化に応じて、随時の見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>利用者様や家族様の要望に応じ、受診時の送迎や買い物等の外出希望時等、柔軟な対応をし、ルーチンワークにならないようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>利用者様の意向や必要性に応じ、幼稚園や小学校、地域の行事等、地域の方との交流を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>内科、歯科医師の往診体制が整っており、ご本人様が希望する病院等も含め、急変時の連携も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師や医療機関との連絡体制が整っており、日常的に協力し、介護状況の報告、情報交換を行い、健康管理を支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>安心して退院ができるよう、定期的の様子を伺いに行き、医師や看護師との情報交換や相談を行っている。家族様との連絡等、退院後の生活に向けての連携を行えるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入所時に本人、家族に意向を伺い、指針、マニュアルを整備し、チームケアの支援体制を整えており、重度化した場合において再度意向を伺い、また主治医との連携体制も整え今後の方針を決めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成しているとともに、初期対応の研修などで対応等を学んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>マニュアルを作成しているとともに、火災、水害を想定した消防訓練を行っている。また、また、地域と平成25年11月に、防災協定を締結した。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねる言葉かけ、対応はしていない。また、記録等の個人情報の取り扱いは慎重に行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員は、利用者様が自己決定したり、希望を表出しやすくすることを大切に、それを促す等の取り組みを日常的に行っている。また、よく分かるよう、納得がいくよう説明をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のペースに合わせ、職員の都合により、強制することなく、安心して過ごせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	事業所内に定期的に美容師の方に来ていただき、利用者様の意向を聞きながら行っている。また、なじみの理美容室を希望された場合はその都度出かけられる支援を行っている。服も可能な限り選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様のペースに合わせ、一緒に料理やおやつの準備片付けをしている。安全に配慮した見守りや声かけを十分行っている。料理レクを実施することにより、イベント的に男女問わずに関われるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	昼食は管理栄養士による献立に基づき、栄養バランスのとれた食事、また季節を感じていただく食事を提供している。朝食、夕食は高齢者向けの配食サービスを利用している。また、利用者様の食事、水分摂取量を毎食チェックし状態に応じた対応を随時行っている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、きちんと歯磨き、口腔内の手入れ、うがいをしよう、職員が見守り、確認を行っている。異常があれば、直ちに歯科往診をできる体制を整えている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自然排便への取り組みを実践し、定時、随時にトイレ誘導、声掛けを行い、できるかぎり、トイレにて排泄を行っていただいている。		
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	散歩、運動や起床時の冷水にて腸動を促したり、水分摂取により、便秘の予防に取り組んでいる。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	お好みの浴槽に入ってもらえる等、個々に応じたに入浴や、季節に合わせゆず湯等の支援をしている。また、中止をした場合には、別日に入浴、または清拭を勧めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中自由に過ごしていただき、静養される方もいる。夜寝付けない方には暖かい飲み物などを提供し、職員と話して過ごしてもらうなど工夫している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>職員は、薬の目的や副作用について把握に努め薬情の確認を行っている。服薬の確認、体調の変化も記録し、医療機関、調剤薬局と連携している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>利用者様の個々のレベルに応じて、個々の利用者様に依りて家事の手伝いや製作物作成等の支援を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>利用者様の希望により、散歩に出かけたり、買い物に出かけたりしている。外出レクリエーションや法人、地域の行事へ出かける機会がある。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>利用者様の状態により、お金のトラブルの防止するため施設管理としているが、お金に関する不穏を招かないよう希望に応じて財布を確認していただいたり、お金を自身で所持していただき一緒に買い物に行く等の支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者様の希望により、電話等、家族様への連絡を行っていただくようにしている。定期的に施設に電話をしてこられる家族様をいらっしゃる。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間に吹き抜けがあり、自然の明かりを取り入れている。壁面に写真やお便りなど、また利用者様の作成した作品を掲示している。また、季節の花を飾り、季節感を感じられるようにしている。3階フロア及び緑化スペースは、合同レク等に利用し気分転換に役立っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	談話室や面談室があり、家族や利用者同士で過ごしたりし、居場所づくりをしている。利用者様の思いや、状態に応じた場所で過ごせるよう配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に今まで使っていたものを持ってきていただくようお話し、居室内に自分のダンスや親しんだ小物等も置かれ、家庭的な感じをそのまま居室につくり出すようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	利用者様のペースに配慮しながら、できること、できそうなことを職員が見極め、すぐに介助に入るのではなく、残存機能を維持できるようなケアを含め、見守りを行っている。杖の使用や歩行器の使用をするなどをし、歩くことへのサポート体制をとっている。手すり等も設置している。		

V アウトカム項目( 1ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない



64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目( 2ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームHanamizuki

作成日 平成31年4月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議参加者が限られ、利用者、利用者家族、行政の参加が少ない	運営推進会議に参加者を増やす為に工夫を行っていく。	<ul style="list-style-type: none"><li>・会議参加に前向きな利用者様に声を掛け、参加して頂く。(負担とならないようなるべく違う方に参加して頂く)</li><li>・サービス担当者会議等で家族と話をする際、会議の説明、参加の声掛けを行う。</li><li>・推進会議開催の日程を行事やレク時にし、併せて参加を促す。</li></ul>	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。